

第12回 産学人材支援プログラム 「学生のための精密工学先端技術講演会」報告

2024年10月19日(土)に産学人材支援プログラム「学生のための精密工学先端技術講演会」を埼玉大学（埼玉県さいたま市）にて開催いたしました。事業企画委員長である筆者より、開催報告をさせていただきます。

学生向けの本講演会は今年で12回目となりますが、精密工学を基盤とした企業に自社の先端技術などをわかりやすく解説して頂き、さらに学生と企業の交流の場を提供するという趣旨で実施しております。今回は本会賛助会員企業を主体として合計19社にご出展（ご講演）頂き、学生参加者は過去最多の129名と大変盛況となりました。首都圏の大学（院）生や高専生が主体ですが、北陸や関西から参加してくれた学生もおりました。本講演会は2つのパートに分かれており、第一部ではセミナー形式で各企業の先端技術講演、そして第二部では展示ブースで企業と学生の個別対話のできる技術交流会をそれぞれ実施いたしました。

第一部の先端技術講演では、梅田事業部会長の開会あいさつに続いて、4つのセッションで各企業にご講演頂きました。講演時間は10分間と短いものでしたが、どの企業も自社の特色や独自技術について大変わかりやすくご紹介いただきました。第一部は約4時間でしたが、最後のセッションまで学生達はメモを取りながら熱心に聴講しておりました。

第二部の技術交流会は、企業の展示ブースを設置した生協食堂に会場に移して実施いたしました。賛助会員を代表して

ジェイテクト・武田氏に乾杯のご挨拶を頂いた後、飲食を楽しみながら和やかで活気のある交流会が始まりました。展示ブースには学生が途切れることなく訪問し、会社や技術について熱心に質問していました。各社とも2～3人の説明員がおられましたが、どの方も学生と対話されているため、筆者が挨拶できる企業の方が見つからないほどの盛況ぶりでした。



第一部（先端技術講演）の様子(1)



第二部（技術交流会）の様子(1)

出展企業と第一部（先端技術紹介）の講演題目

- ・ (株) ジェイテクト ジェイテクトにおける加工技術の紹介
- ・ シチズンマシナリー (株) CNC 自動旋盤における LFV（低周波振動切削）技術と摩擦接合技術の研究開発
- ・ 三井精機工業 (株) 三井精機の先端技術について
- ・ ヤマザキマザック (株) MAZAK のハイブリッド加工技術
- ・ 日本精工 (株) ころがり要素がもたらす新たな価値と未来像
- ・ (株) 小坂研究所 LED ダイボンダ技術について
- ・ オークマ (株) 省エネと高生産性の両立を実現するオークマの脱炭素技術
- ・ 芝浦機械 (株) 芝浦機械の先端技術
- ・ (株) 牧野フライス製作所 半導体製造装置向け最新加工技術
- ・ (株) 日立製作所 サステナブルな社会の実現に貢献する日立のモノづくり技術
- ・ ファナック (株) ファナック CNC のデジタルツインによる加工条件の最適化
- ・ (株) 東京精密 非接触形状測定技術
- ・ (株) ナガセインテグレックス 構造最適化を駆使した超精密加工機の開発事例
- ・ (株) FUJI 電子部品実装ロボットの高速位置決め技術
- ・ 住友電気工業 (株) 住友電工の革新的工具開発
- ・ DMG 森精機 (株) DMG MORI の提案する MX 戦略と最新加工技術
- ・ 日本ガイシ (株) 日本ガイシのセラミック製品と精密工学
- ・ (株) アマダ アマダの最新レーザ加工技術
- ・ (株) ミットヨ 未来を拓くミットヨの先進計測



第一部（先端技術講演）の様子(2)
メモをとりながら熱心に聴講している学生



第二部（技術交流会）の様子(2)
“大盛況”という言葉がふさわしい活気に満ちた会場

今回は、新しい試みとして「学生の皆さんに聞いてみたい12の質問」というイベントも実施しました。これは、出展企業にあらかじめご用意頂いた“学生に聞きたい質問”に対して、参加学生が当日オンラインで回答し、その回答結果を第二部の技術交流会で披露するというものです。出展企業から頂いた質問は、「ご自身の専門性をどの程度活かせる仕事に就きたいですか？」や「企業に実施してほしい採用関連イベントは何ですか？」などですが、本講演会だからこそ聞けるというような質問も複数ありました。技術交流会で学生の回答を紹介すると、企業の方から「おお〜」や「え〜そうなんだ〜！」など大きなうめきが起こり、さらに学生自身が他の学生の意見に驚く様子も見られました。その後の技術交流会では、それらの質問や回答を話のタネとしてさらに盛り上がったようです。

過去の本講演会では、第二部（技術交流会）の途中で退室された学生もいたようですが、今回はほぼ全ての参加学生が終了時刻まで企業の方との対話を楽しんでいました。最後に会場校を代表して、池野先生に閉会のご挨拶を頂き、高崎先生の一本締めで本講演会を無事に終了いたしました。

参加後の学生アンケートによれば、本講演会に満足したとの回答がほぼ100%で、「企業の方との交流がしやすいイベントであった」や「様々な有名企業のお話を聞くことができ、とても良い経験になった」などの意見が寄せられており、特に第二部の技術交流会は好評だったようです。また、90%超の参加学生が現行方式での本講演会あるいは学会主催のキャリア支援イベントを継続実施を期待しているとのことですが、秋季ではなく春季での開催希望者も多数いました。

参加後の出展企業へのアンケートによれば、100%の企業が本講演会に満足したとの回答が得られ、「多くの学生へ当社のことを知っていただく良い機会となり、非常に満足しております」や「学生の皆さんに聞いてみたい12の質問は大変参考になりました」などのご意見が寄せられました。また、学会主催のキャリア支援イベントや現行方式の本講演会の継続を望む声が大多数でしたが、「春季・秋季大会の学生との集いとの連携や周知が必要」や「学生の参加者名簿などがあると便利」など今後に向けて貴重なご意見も頂きました。

最後になりましたが、本講演会にご出展頂きました企業の皆様に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。そして、本講演会は事業企画委員会の企画ではございますが、事前準備から当日運営に至るまで、会場校である埼玉大学の先生方の多大なるご尽力によって開催できましたことをここで報告させて頂くとともに、埼玉大学の池野順一先生、金子順一先生、高崎正也先生、阿部壮志先生、山田洋平先生、成澤慶宜先生、および同大の職員の皆様に、心より感謝申し上げます。

（記：事業企画委員長 金子 新）



第二部（技術交流会）の様子(3)
企業の展示ブースは途切れることなく学生が訪問



「学生の皆さんに聞いてみたい12の質問」の回答紹介
会場から「おお〜」とどよめきが... !